

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 関係府省庁連絡会議（第8回） 議事録

日 時：平成29年6月2日（金） 11：45－11：55

場 所：総理大臣官邸2階小ホール

出席者：

議長	内閣官房副長官（事務）	杉田 和博
議長代行	内閣官房東京オリンピック競技大会・ 東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長	平田 竹男
副議長	内閣危機管理監	高橋 清孝
	内閣官房副長官補（内政担当）	古谷 一之
	文部科学事務次官	戸谷 一夫
構成員	内閣審議官【内閣情報官代理出席】	富田 邦敬
	内閣法制次長	近藤 正春
	内閣府事務次官	西川 正郎
	警察庁長官	坂口 正芳
	金融庁長官	森 信親
	消費者庁長官	岡村 和美
	復興庁事務次官	西脇 隆俊
	総務事務次官	佐藤 文俊
	法務事務次官	黒川 弘務
	外務事務次官	杉山 晋輔
	財務事務次官	佐藤 慎一
	厚生労働事務次官	二川 一男
	農林水産事務次官	奥原 正明
	経済産業事務次官	菅原 郁郎
	国土交通審議官【国土交通事務次官代理出席】	毛利 信二
	環境事務次官	小林 正明
	防衛事務次官	黒江 哲郎

オブザーバー （公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副事務総長
布村 幸彦

【多田統括官】

ただ今より、第8回2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議を開催します。

本日は御多忙の中、御参集いただき誠にありがとうございます。私の方で進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いします。

まず、会議の開催に当たり、杉田副長官から御挨拶いただきたいと思います。杉田副長官、よろしくお願いいたします。

【杉田副長官】

平成27年にオリパラ基本方針が閣議決定されまして、以後、関係府省庁の大変な御努力によって、政府全体としてはこれまで、大会の安全安心の確保のためのセキュリティ基本戦略の策定、復興五輪に向けた福島県での野球・ソフトボールの開催の実現、日本文化の魅力の発信のためのbeyond2020（ビョンド・ニゼロ・ニゼロ）プログラムの開始、共生社会の実現に向けたユニバーサルデザイン2020行動計画の策定など取組を着実に進めてまいりました。

こうした中、5月19日に開催されたオリパラ推進本部において、昨年度までの政府の取組状況について国会報告をとりまとめ、閣議決定をいたしました。

東京大会まで、まもなくあと3年であります。今後も、国として各施策の進捗管理を徹底しながら、取組を加速させていく必要があります。

関係府省庁におかれましては、前回も申し上げましたけれど、相互に連携して横断的な展開を図り、無駄なく効率の良い施策の推進に御努力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【多田統括官】

ありがとうございました。それでは、議事に入ります。本日の議事は全て報告事項でございます。

まず、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた政府の取組の状況に関する報告及び工程表」について、平田事務局長より御説明をお願いいたします。

【平田事務局長】

《政府の取組の状況に関する報告について》

資料1-1及び1-2をご覧ください。本報告は、昨年6月に改正されたオリパラ特措法に基づき、大会の準備及び運営の推進に関する政府の取組状況について、5月19日に開催された第8回オリパラ推進本部において決定し、閣議決定の上、国会に提出されたものでございます。

《政府の取組に係る工程表について》

次に、資料2をご覧ください。本資料は、今、御説明した報告に記載されている施策ごとに、今後の取組を工程表にまとめたものになります。1番の「セキュリティ対策検討・推進体制の整備」を例に御説明いたします。

資料2の7ページをご覧ください。

大会成功に向けた最重要課題の一つがセキュリティ対策です。しかし、テロ事件が世界各地で続発し、サイバー攻撃の脅威も深刻さを増すなど、セキュリティ情勢は予断を許さない状況にあります。

このような情勢を踏まえ、本年3月、政府において「セキュリティ基本戦略・バージョン1」を取りまとめました。

また、本年7月を目途としまして「セキュリティ情報センター」を警察庁に設置するなど、大会の安全に関する情報の収集・分析を強化することとしています。今後、大会の1年前に開催される「ラグビーワールドカップ2019」やテストイベントまでに、体制及び対策を整え、大会の安全安心の確保に万全の態勢で臨めるよう取組を加速していきます。

なお、そのため、第8回オリパラ推進本部において、関係府省庁連絡会議のメンバーとして、内閣危機管理監を副議長として追加すること等が決定されております。内閣危機管理監には、今回の会議から出席いただいておりますので、併せて御報告いたします。

この施策はあくまでも一例でございますけれども、70弱の施策を工程表として整理させていただいております。その全ての項目ごとに、しっかりと進捗を管理していくことが、大会の円滑な準備に欠かせません。今後も一層の取組の推進をお願い申し上げます。

【多田統括官】

ありがとうございました。続いて、「『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る交通輸送円滑化推進会議』の設置」について、平田事務局長より御説明をお願いいたします。

【平田事務局長】

《交通輸送円滑化推進会議の設置について》

資料3をご覧ください。

世界有数規模の都市であります東京での大会の成功のために、市民生活や経済活動への影響を最小限にしつつ、円滑な大会輸送を実現するため、政府、組織委員会、東京都、関係自治体及び経済界が一体となって検討・調整する「交通輸送円滑化推進会議」を先月18日に設置・開催いたしました。

今後、国民全体の御理解、経済界からの御協力を得ながら、国民や企業の交通行動や働き方などを見直す取組の合意形成や機運醸成を図り、大会輸送と一般交通が適切に共存できるよう、全国的な視野で検討を進めてまいりますので、引き続き、関係府省庁の御協力をお願い申し上げます。以上でございます。

【多田統括官】

ありがとうございます。それでは、意見交換に移ります。これまでの説明に対して御意見等がある方は御発言をお願いします。

なお、文部科学省から、「ラグビーワールドカップ2019の準備状況について」として、資料で御報告をいただいております。

御発言はございませんでしょうか。

それでは時間の制約もございますので、発言はここまでとさせていただき、最後に、杉田副長官から一言御発言をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【杉田副長官】

本会議も今回で8回目の開催となります。同じようなことをなぜ何回も取り上げるのかと思われる方もいらっしゃるかと思います。同じようなことというのは適当なインターバルで皆さま方に改めてよく御理解をいただいた上で、施策の進捗状況を時折、御確認いただく必要があります。大会までに残された3年で着実に施策を推進していただけるよう、重ねてよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

【多田統括官】

ありがとうございました。本日の会合はここで閉会とさせていただきます。

なお、本日の議事内容につきましては、内閣官房から公表することを予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。